

## 市立高校初めての宿泊体験型防災訓練について

10月24日（金）午後5時から25日（土）午前9時まで名古屋市教育委員会主催で市立高等学校で初めての宿泊体験型防災訓練が山田高校で行われました。各市立高校から代表生徒が山田高校に集まり、体育館で名古屋市消防局の方からの防災講話「避難所の役割について」の受講からはじまり、救命講習「AEDによる心肺蘇生法」も体験しました。訓練は宿泊体験も含め、翌日朝の防災学習まで続きました。

就寝は写真のように教室の床に段ボールを敷き、その上で防災用備蓄毛布を被って就寝しました。生徒は震災になって段ボールの上で何日も就寝することになったら大変だということを実感しました。

夕食は被災当日を経験するため、水さえあればすぐ食べられるレトルトご飯と乾パンと災害備蓄用飲料水だけでした。朝食は電気等の復旧後を想定し、暖かい味噌汁が付きました。暖かい味噌汁に生徒たちもほっと一息ついていました。

この体験で避難所での協力と助け合いの必要性がよく理解できたこと、普段の食事のありがたさや家族の大切さも実感できたという生徒の感想や、震災になったら率先して共助をしようという生徒の意見もありました。

（視聴覚室に段ボールを敷いて男子の就寝体験↓）



（レトルトに水を入れただけの夕食  
を準備↓）





名古屋市消防局西消防署の救急救命士の方から、救命講習「AEDによる心肺蘇生法」を受講しました。講習中も出動命令に備え、体育館の横に救急車・消防車が待機し、救急出動が、講習中、実際に1件ありました。



←心肺蘇生の講習

(救命講習↓)





夜間のグループ協議「自分にできる防災対策」

指導室 鈴木指導主事 挨拶

